

城川 美佳（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Ogasawara R, Yamanaka H, Kobayashi J, Tomokawa S, Sugita E, Hirano T, Kigawa M, Nishio A, Akiyama T, Nam EW, Gregorio ER Jr., Estrada CAM, Thongthien P, Kanyasan K, Devkota B, Hun J, Ma Y, Yamamoto BA. (2022). Status of school health programs in Asia: National policy and implementation. *Pediatrics International*, 64, e15146.
- 2) Izukura S, Ishibashi Y, Ampo Y, Kigawa M, Horiguch I. (2022). The actual status of users of supplements and health foods: questionnaire-based study in Japan. *Jpn J Health & Human Ecology*. 88(3), 84-97
- 3) Kigawa M, Tsuchida A, Matsumura K, Kasamatsu H, Tanaka T, Hamazaki K, Adachi Y, Inadera H, The Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. (2022). Predictors of non-response to successive waves of surveys in the Japan Environment and Children's Study during the 3-year postpartum period: A longitudinal cohort study. *BMJ Open*, 12, e050087.
- 4) Tsuchida A, Kigawa M, Matsumura K, Ito M, Tanaka T, Hamazaki K, Inadera H. (2022). Provision of educational events and subsequent questionnaire response rates in a large-scale birth cohort study from Japan. *BMJ Open*, 12, e064229.

3 その他の著作

- 1) 城川美佳. (2022). 嵐の中に佇む. *日本健康学会誌*, 88(5), 163-164.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本健康学会，理事，学会運営に関与する，通年
- 2) 国際学校保健コンソーシアム，事務局委員，コンソーシアムの運営等に関与する，通年
- 3) 神奈川県調理師試験委員会，委員，神奈川県調理師免許の試験問題の作成・検討を行う，通年
- 4) 横須賀市生活環境保全審議会，委員，横須賀市の生活環境保全について検討する，通年
- 5) 特定非営利活動法人訪問看護ステーションコスモス，理事，団体運営に関与する，通年
- 6) 特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ，理事，団体運営に関与する，通年
- 7) 特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター，第10回ウェルフェアデザインコンテスト実行委員，当該コンテストの企画・応募作品の評価を担当した，通年

5 社会貢献

- 1) 令和4年度スーパーサイエンスハイスクール事業による神奈川県立横須賀高校2年生生徒への研究指導，通年
- 2) 東京都台東区山谷地区における路上生活者等への健康相談会にボランティアとして参加，通年(毎月第4土曜日に実施)

7 学会等での活動

- 1) 令和3年度スーパーサイエンスハイスクール事業で行った高校生の研究成果について発表指導を行った。その成果は第30回日本健康教育学会学会学術大会(2022.7., 栃木県)にて発表となった。城川美佳, 他. (2022). 新型コロナウイルスワクチンに対する態度～高校生による検討～。
- 2) 日本行動計量学会第50回大会(2022.8., 那覇市)にて研究成果「出生コホート研究参加女性への質問票調査における未回収関連要因の検討～子どもの健康と環境に関する全国調査参加協力者を対象に～」を発表した。
- 3) 第81回日本公衆衛生学会総会(2022.10., 甲府市)にて研究成果「出生コホート研究参加女性における産後1年間での質問票未回収の関連要因」を発表した。
- 4) 第81回日本公衆衛生学会総会(2022.10., 甲府市)にて自由集会「CovID-19パンデミック対応の課題と工夫を共有しよう」を主催した。
- 5) 日本学校保健学会第68回学術大会(2022.11., 和歌山市)にて研究成果「教員養成機関におけるESD推進のための「栄養不良の二重負荷」に関する授業研究の成果と課題」の発表に共同演者として参加した。
- 6) 第37回日本国際保健医療学会学術大会(2022.11., 豊川市)にて研究成果「日本型保健教育の途上国での展開可能性と課題：栄養不良の二重負荷についての教材開発」を発表した。
- 7) 第37回日本国際保健医療学会学術大会(2022.11., 豊川市)にて研究成果「日本型の保健教育の途上国での展開可能性と課題：教員養成機関におけるワクチン教育のための教材開発」の発表に共同演者として参加した。

8 学内教育活動

- 1) 統計学(学部全学科1年生対象, 前期開講)を科目責任者として講義を担当し、講義資料およびグループワークのための資料を作成した, 2022.4-8.
- 2) 疫学・社会調査(学部看護学科2年生対象, 社会福祉学科・リハビリテーション学科は選択, 前期開講)を科目責任者として対応し、また疫学と社会調査(量的調査)の講義を担当した。講義資料およびグループワーク用資料を作成した。2022.4-8.
- 3) 保健医療福祉論Ⅰ(学部全学科1年生対象, 前期開講)の「保健医療福祉システムにおける「保健」の役割」「保健医療福祉システムにおける「医」の役割」の講義を担当した。2022.4.18, 2022.4.25.
- 4) 公衆衛生学(学部看護学科・社会福祉学科・リハビリテーション学科1年生対象, 後期開講)を科目責任者として講義を担当し、講義資料およびグループワーク用資料を作成した。また、実務者をゲストスピーカーとして招聘し「路上生活者の健康」「在日外国人の医療」について講義を行った。2022.10-2023.1.
- 5) 文献検索とクリティーク(学部全学科1年生対象, 後期開講)のうち、社会福祉学科Bグループの講義(8回)を担当し、講義資料の作成とグループワーク指導を行った。
- 6) 研究法Ⅰ(大学院保健福祉学研究科前期課程対象, 前期開講)を担当し、講義資料を作成した。2022.4.-8.
- 7) 研究法Ⅱ(大学院保健福祉学研究科前期課程対象, 後期開講)を科目責任者として対応し、また量的研究の講義を担当した。講義資料を作成した。2022.10-2023.1.

9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会委員, 通年
- 2) 大学院入試委員, 通年
- 3) 学内実習ステーション WG 委員, 2023.2.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 城川美佳, 日本に中長期滞在する外国人に対する結核予防教育のあり方の検討～ネパールを対象に～, 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (一般), 3,300,000 円, 2020～2023 年度
- 2) 城川美佳, ケイパビリティ (潜在能力) の保障のためのアジアの就学前児の発育発達評価方法の開発 (研究代表者: 友川幸), 科学研究費助成事業 挑戦的研究 (萌芽), 258,372 円, 2022 年度
- 3) 城川美佳, 後開発途上国の ECD における健康増進活動の可能性と課題: 人間の安全保障の観点から (研究代表者: 三宅公洋), 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (一般), 250,000 円, 2022 年度.